


# 所沢市公民連携プラットフォーム

## 提案募集シート

### ■提案の募集内容

課題 No.	TK2316
課題タイトル	リチウムイオン電池に起因する火災予防策を募集
課題内容	<p>現在、リチウムイオン電池に起因する廃棄物処理施設の火災等が全国各地で発生しており、状況によっては数億円の損害が出る可能性があります。</p> <p>所沢市のクリーンセンターにおいても、火花の発生や自力ですぐに消火できる規模の出火が頻繁に発生しています。過去には、消防隊による消火が必要になったことがあり、その際は鎮火までに 10 時間以上を要し、ごみの受け入れを中止せざるを得ない状況となりました。</p> <p>そこで、リチウムイオン電池に起因する火災予防策を募集します。</p>
補足資料	<p>あり（別添参照）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●不燃・粗大ごみ処理フロー</li><li>●破碎ごみ類の出し方</li></ul>
現在の取り組み	<p>1. クリーンセンターでのハード面の対応</p> <p>（1）破碎ごみ類（いわゆる不燃ごみ）を処理するラインのコンベヤに発火等を感知するセンサーを設置し、発火した場合は、すぐに運転を停止して水を噴霧する仕組みになっています。</p> <p>（2）燃やせるごみピットでの発火をいち早く発見するために温度センサーを設置しています。センサーに反応があった際は、すぐに放水銃にて消火しています。</p> <p>2. 市民周知</p> <p>（1）全戸配布冊子および市ホームページ上に公開している「家庭の資源とごみの分け方・出し方」において「リチウムイオン電池が原因の発火事故が急増中」などの注意喚起文を強調して表示しています。</p> <p>（2）リチウムイオン電池の適正分別を呼びかける動画を YouTube にて配信しています。（マシンガンズ滝沢さん出演）</p>
提案者側に期待すること	市民周知の追加や収集方法変更などではなく、クリーンセンター内でできる対策を実施したいと考えています。また、そもそも発火させない、または不燃ごみピットにリチウムイオン電池を入れさせないような対策をご提案いただけるとありがたいです。
定量的な目標値	発火等の件数を 1 か月あたり 10 件以下にしたいです。 (現在は 1 か月あたり約 45 件発生しています。)
現時点の予算状況	提案次第では予算化の可能性あり
提案の募集期限	2024 年 7 月 31 日
目指す SDGs ゴール	 <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>
問い合わせ先	所沢市 経営企画課 公民連携推進室 TEL : 04-2998-9027 E-mail : a9027@city.tokorozawa.lg.jp